

# 学校歯科News

第 48 号 平成26年1月1日

佐賀県学校歯科医会 発行

〒840-0045 佐賀市西田代 2-5-24  
TEL0952-25-2291 / FAX0952-22-7586  
e-mail [kensikai@po.bunbun.ne.jp](mailto:kensikai@po.bunbun.ne.jp)  
<http://www.saga-dental.or.jp>

## さが食育フェスタ2013 in 唐津&伊万里



本県では、県民の食育に関する意識を高め、実践を促すための食育県民運動として6月と11月を「食育強化月間」に定め、特に実りの秋である11月は中核イベントとして「さが食育フェスタ」が開催されています。平成23年度は佐賀市、平成24年度は武雄市で同イベントが行われ、多くの方にご来場いただき、食育への関心を高めていただいたため、本年度は11月9日（唐津市）と10日（伊万里市）の二日間に亘り同イベントが開催されることとなりました。

11月9日（土）唐津市文化体育館にて、「さが食育フェスタ2013 早ね・早起き・朝ごはん」が開催されました。幕内秀夫氏による食育講演会や筋肉料理人藤吉和男氏による男メシ料理教室などのイベントが行われました。唐津東松浦地区歯科医師会のブースでは、渡辺孝輔先生、古舘 剛先生と沖が担当し、咬合力測定、位相差顕微鏡による口腔内細菌の観察、噛むカムチェックガムによる咀嚼効率の測定、歯科相談を行いました。20代から40代の子育て世代の親子が多く、位相差顕微鏡で観る自分の口腔内細菌に驚いた様子で、母親に歯磨きをしっかりとすると約束しているお子さんもいらっしゃいました。また歯科相談では、むし歯予防や指しゃぶりについての質問、年配の方からは唾液の減少についての質問もあり、相談



にいらした皆さんがこのようなイベントで気軽に歯科医師に相談できることに対して、とても喜ばれているようでした。当ブースには約200名の来場者があり、終日大盛況で、唐ワンくんなどのゆるキャラが会場を盛り上げ、全体的に和気あいあいとした楽しいイベントでした。担当の先生、撮影や応援に来てくださった先生方ありがとうございました。（沖 宜親）

11月10日（日）伊万里市市民センターにて、「さが食育フェスタ2013」&「伊万里食のまちづくり祭典」が開催されました。ミス・インターナショナル2012グランプリ吉松育美さんによる食育トークショーや平成24年度佐賀県食育賞を受賞した大川内小学校による食育活動「食と農」をつなぐ「田んぼの学校」の活動発表など様々なイベントが行われました。

「健康・食育体験コーナー」では伊万里・有田地区歯科医師会がブースを設け、歯科相談・ブラッシング指導・むし歯検査・咬合力測定を地区地域保健福祉部の先生方が担当しました。RDテストでの色の変化に驚かれる方や噛む力を親子で競争したり、生えたとの乳歯の磨き方を熱心に質問しているご夫婦など普段の診療室とは一味違う雰囲気があり、食育にとって歯科は重要であるということを示す市民の方に普及・啓発ができたのではないかと感じました。当ブースには終日来場者が絶えることなく、約200名のご来場を頂きました。

今回、市民・事業者・行政の協働でのまちづくりイベントに会員全員参加でご協力いただいた地区歯科医師会の先生方、本当にありがとうございました。

（舩元康浩）



## ☆第8回 がばい良い子の歯科教室 in 東川登小学校☆

平成25年11月8日(金)、武雄市立東川登小学校にて「がばい良い子の歯科教室」が行われました。この事業は武雄・杵島地区歯科医師会が主催し、歯科医師や歯科衛生士が区内の小学校へ赴いて開かれる出前講座で、今回で8回目の開催となりました。

1・2年生	「むし歯のでき方とその予防」	小柳進祐先生
3年生	「お口の健康とむし歯のお話」	中尾弘志先生
4年生	「むし歯と歯並びについて」	松尾謙一郎先生
5年生	「むし歯と歯周病のお話」	江口譲治先生
6年生	「歯の値段、フロスの使い方、実際に口の中を見てみよう」	野田正純先生



各学年(全校生徒105名)、わかりやすく工夫を凝らした歯科講話や歯みがき指導が行われ、3年生では、動画でのプラーク中の動き回る細菌や進行したむし歯で顔が腫れあがったスライドに驚き、また噛むことと体の関わりの話などに興味深い様子で聞いてくれました。最後に咬合力ガムによる咬合力テストを行いました。中には咀嚼効率が良くない生徒も見受けられ、今後の注意深い対処の必要性を感じました。

これからも歯科教室を継続的に実施することで、生徒がむし歯や口腔に関心を持ち、主体的、意欲的に健康づくりに取り組むことを期待しています。(中尾弘志)

## ☆いい歯の日イベント「がばい・歯っぴーいい歯の日」☆

11月10日(日)、佐賀イオン大和にて、歯科衛生普及イベント・第2回「がばい・歯っぴーいい歯の日」を、佐賀県歯科医師会地域保健部の古川直樹先生、原秀幸先生のご協力の下、開催致しました。当日は120名を超える方に立ち寄っていただき、スタッフ一同嬉しい悲鳴で大忙しのイベントとなりました。参加者は主に小さいお子様をお持ちの御家族でしたが、学生、中高年の御夫婦など乳幼児から高齢者に至るまでいろいろな年代の方々に参加して頂きました。イベントの内容は歯科医師会の先生方による歯科相談コーナー、歯科衛生士によるブラッシングコーナー(ガムを使った咀嚼力判定・RDテスト)、目



玉(?)でもある子供向けのゲームコーナーを設けましたが、それぞれで待つ頂くほど大盛況でした。参加者には歯磨剤や歯ブラシ、キシリトールガムなどを最後にプレゼントとしてお渡ししましたが、普段中々目にする事のない歯科グッズを見て大変喜んで頂きました。

歯科医師会の先生方には「**今年は若い方の相談が多かった**」、「**定期的に行かれていまする方がいる一方、日常が忙しく歯科を受診する時間がない方もいた**」とのご感想を頂き、今回のイベントへの参加が歯科受診へのよい機会になって頂けたらと思います。

昨年の反省を踏まえ、今年は手づくりのチラシを入り口で来店の方々へ配布してイベントの案内に努め、「佐賀県歯科衛生士会」と「がばい歯っぴーいい歯の日」の2種類の鮮やかな旗を新調し、会場に立てたことでイベントが明るく華やかな感じになり、お客さん達の興味を惹くことも出来たのではないかと思います。昨年・今年と開催してみて、県民の口腔に対する意識が向上しているように感じら、これからも地域の皆様の中に根付くよう続けて行きたいと思っております。

最後になりましたが、お忙しい中、ご協力頂きました佐賀県歯科医師会の先生方には厚くお礼申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願い致します。(佐賀県歯科衛生士会地域福祉理事・中座博子)

## ◆鳥栖・神埼地区保健主事養護教諭研修会における歯科保健研修会◆

平成25年11月20日(水)、鳥栖神埼地区保健主事・養護教諭合同研修会において、三養基高等学校歯科校医の富安紀文先生に、「三養基高等学校における歯科保健の取り組み」という演題で講演を頂きました。講演の中で、目標達成への考え方として「**GPDCA=Goal・Plan・Do・Check・Action**」サイクルをあげられ、三養基高等学校での実践をご紹介していただきました。健康課題に向けた取り組み方としてGPDCAサイクルの考え方は、私たちの日々の執務に躍動を起こす手順を示唆して頂き、大変興味深く受けとめました。学校医として検診結果で捉えた課題を解決できるようにと養護教諭と連携し、検診会場の工夫や文化祭等で、歯に興味を持ってもらうような資料づくりや生徒自ら歯科医院を受診したいと思うような資料づくりを考えられていることや、幼少の頃、歯医者に行きたくなかったが、治療を受けることで痛みがなくなったというご自身の体験談も交え、早期受診の必要性を生徒達に伝えていることを報告されました。私自身、先生が歯科保健を通して生徒たちへ深い愛情を注がれていることに感銘を受け、改めて生徒たちの健康課題改善に向け、取り組むことの大切さを再認識しました。



鳥栖神埼地区高等学校保健会では、平成23年度から研究テーマを「**地域と連携した歯科保健指導の推進～笑顔をつくる保健指導～**」として進めて3年になり、これまで数回にわたり佐賀県歯科医師会のご協力を得て、歯科保健に関する講演や体験学習の指導を受けて参りました。その成果もあり、研修に参加した各自が学校の中で歯科保健指導を効果的に進める工夫を行い、実践することができるようになり、今後とも歯科医師会のご指導、ご協をお願いいたします。

(佐賀県立鳥栖工業高等学校定時制 養護教諭 原 まち子)

## ◆第53回佐賀県学校保健安全研究協議大会◆

平成25年11月28日(木)、唐津市民会館大ホールにて、「第53回佐賀県学校保健安全研究協議大会」が開催されました。今回の主題は「**生涯にわたって健康で安全な生活を送るために、たくましく生きる力と豊かな人間性を身につける児童生徒の育成**」。大会役員として松尾繁樹学校歯科医会副会長、西村賢二理事がご臨席され、来賓に佐賀県歯科医師会 寺尾隆治会長にもお越しいただきました。

シンポジウムでは、テーマが「**心豊かなたくましい子供を育てる学校、家庭、地域の役割**」と題し、コーディネーターに佐賀大学文化教育学部教授 甲斐京子先生、アドバイザーに好生館周産期母子センター長 藤田一郎先生をお迎えし、管理職・保健主事・養護教諭・PTA・三師会の各代表による発表が行なわれ、三師会代表では、多久市立東部小学校学校歯科医 木下務先生が

**“むし歯は減少傾向にあるが、顎の発育は悪くなっている。それに伴い歯並びの悪い子供が増加し、かみ合わせも悪くなっており、それを改善するには良い姿勢をとり、正しい咀嚼、嚥下を繰り返すことが重要だ。”**と報告されました。

次に表彰が行なわれ、学校保健功労者として浜崎小学校学校歯科医 松尾憲篤先生を代表に31名の方が表彰され、また学校保健安全優良校として伊万里市立山代東小学校が表彰されました。引き続き行なわれた記念講演では、佐賀医療センター好生館周産期母子センター長 藤田一郎先生による



「**子供の心身症と不登校の相談**」のお話がありました。好生館における新生児医療と心身症外来の紹介や、佐賀市で行なっている親向けの子育て講座における小児心身症を理解することから始まりカウンセリングの実際や家族面接のことなどについて講演されました。最後に閉会式があり、盛会のうちに終了いたしました。来年は神埼地区での開催となります。

(沖 宜親)

# 佐賀県「歯と口の健康づくり」研修会

平成25年12月12日(木)小城市ドゥイング三日月にて、佐賀県「歯と口の健康づくり」研修会が開催されました。佐賀県内の小・中学校の養護教諭を中心に250名以上の方に来場していただき、まず、佐賀県歯科医師会 寺尾隆治会長が登壇し、開会の挨拶を、次に佐賀中部保健福祉事務所の三原博幸所長が来賓の挨拶を行いました。引き続き演題に移り、芦刈小・中学校の学校歯科医の副島渉先生による「口腔機能を考えてみましょう～口腔機能の成り立ち～」と題した講演が行われました。その中で講師の副島先生は口腔の発育と口腔機能の発達を胎児期から順を追って説明し、口腔機能の発達途上における機能不全を招く様々なリスクについての説明がなされました。舌の発達と歯列の関係や口呼吸が歯列に及ぼす影響や口腔機能の発達における噛むことの重要性についても話があり、早く食べることを促すのではなく、良く噛んで食べることを普段から呼びかけることが肝要であると述べられ、養護教諭のみならず、我々実地医家にとっても有意義な講演でした。



実践発表では、小城市立三日月小学校の福浦慶太教諭から「学校歯科医と連携した健康教育の推進～視力改善の一助としての歯科保健活動～」と題する報告が行われました。学校での取り組みとして、学校歯科医による保健指導、児童保健委員会による「せいけつカード」の作成・集計、朝に保健タイムの時間を設けるなどの紹介があり、学校歯科医の先生だけでなく、眼科校医などの校医の先生方と連携した保健活動等の紹介も行われました。福浦教諭はこの活動を通して、児童の健康に対する意識改革などの成果がみられる一方、大規模校ならではの児童の実態に応じた保健活動にまだ課題を残しているとも報告されました。



次に、同校歯科校医である原田雄一先生より「私の学校歯科保健への取り組み～大規模校での実践～」と題する報告が行われました。毎年テーマを変えた歯科保健動画を学校歯科医が児童と一緒に作成し、校内で放映しているとのことで、実際の動画を交えて紹介されました。しかし先生は今後の課題として、大規模校での個々に応じたきめ細かな保健指導の実施の難しさをあげられ、学校側とより密に連携し保健活動に取り組む必要性について報告がなされました。

最後に佐賀県歯科医師会地域保健部の西村賢二理事より総括が行われ、盛会のうちに終了しました。  
(尾鷲俊行)

# 平成25年度 第2回 佐賀県学校歯科保健研修会 「学校歯科医生涯研修制度」基礎研修会の開催

- 【主 旨】 学校歯科保健は、歯・口腔を通じ、保健教育と保健管理の協調のなかで「心身ともに健康な国民の育成を期する」活動である。  
学校での「歯・口の健康づくり」は、問題発見・解決型学習を主体とした健康教育の題材として優れているとともに、人間性の陶冶にも優れており、子ども達の「生きる力」の育成に重要な活動である。
- 【期 日】 平成26年 1 月25日（土） 午後1時30分～午後5時
- 【場 所】 佐賀県歯科医師会館 3階ホール
- 【対 象】 佐賀県歯科医師会会員 特に 佐賀県学校歯科医会会員の先生方
- 【日 程】 ▼開 会  
▼挨拶  
▼連絡  
▼講演 ①学校歯科保健の概念を把握する  
②学校歯科保健における保健教育を理解する  
③学校保健による保健管理を理解する  
④学校歯科保健による組織活動を理解する  
▼質疑応答  
▼閉 会

※なお、本年度より導入された日本学校歯科医会主催の専門研修（「生涯研修登録学校歯科医証」）を受講される際には、「基礎研修終了証」が必須となりますので、皆様、ふるってご参加いただきますようお願いいたします。

